GCOE ワーキングペーパー
次世代研究　5

過疎山村高齢者における生活維持の諸条件

― 綾部市 A 町の事例から ―

芦田 裕介
（京都大学大学院農学研究科 博士後期課程）
大原 桃
（千葉県東葛飾農林振興センター）
柏尾 珠紀
（龍谷大学社会学部 非常勤講師）
高村 竜平
（秋田大学教育文化学部 准教授）

2010 年 1 月

京都大学グローバル COE
「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」
Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501　京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科
Email: intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp　URL: http://www.gcoe-intimacy.jp/

アブストラクト

本研究では、京都府綾部市を事例に、過疎化が進む農村地域の高齢者の生活実態を明らかにすると同時に、「生活の維持」を可能にする社会的な仕組みや精神的環境を考察した。高齢者の生活には、家族の支援や地域活動、あるいは、福祉サービスからの支援が重複して存在しており、これらがサポートシステムを形成していた。考察では、高齢者を、一人暮らし世帯、二人暮らし世帯、自立状態世帯、要支援・介護状態世帯にそれぞれ分類し、各世帯の生活を支える「与え手」として、他出子を含めた家族や親族、地域住民、地域活動、福祉サービスという 4 つのアクターを考えた。考察の結果から、一人暮らし世帯では男女や要介護状況にかかわらず他出子の存在が大きな意味を持つこと、二人暮らし世帯では、要介護者の性別が支援の有り様に多大な影響を与えていることが明らかとなった。

キーワード：過疎、老親扶養、他出子、サポートシステム

2008 年度次世代研究「家族の分離居住と扶養問題　― 過疎深度の異なる地域間比較 ―」（研究代表：芦田裕介）による成果である。

【メンバー】() 内は 2008 年度プロジェクト時点

芦田裕介　（京都大学大学院農学研究科 博士後期課程）

大原桃　（京都大学大学院農学研究科 修士課程）

柏尾珠紀　（龍谷大学社会学部 非常勤講師）

高村竜平　（秋田大学教育文化学部 准教授）